

令和4年度の活動予定について

令和3年

令和4年

○東京デジタルサービス会議の設置及び第一回の開催（令和3年11月9日）

- ・会議設置の趣旨等（ミッション等の共有）
- ・構成員からの課題提起
- ・開発プロセス、WGで検討する技術テーマ等の検討



○第二回東京デジタルサービス会議（令和3年12月27日）

- ・行動規範の策定状況及び定着に向けた取組
- ・標準プロセスの検討状況
- ・ワーキング・グループ（WG）の設置



○第三回東京デジタルサービス会議（令和4年1月24日）

行動規範の策定状況、WG検討状況



○第四回東京デジタルサービス会議（令和4年3月31日）**《今回》**

行動指針策定報告、WG検討状況、R4年度の活動予定



WG
にお
ける
検
討

令和4年度の主な活動：アクション・プラン（仮称）の策定

- ◎ 行動規範10か条で示した、各条項の**関連する仕組みや制度（マネジメント・システム）**を**具体化**するため、行動指針に記載の取組について、実施計画を策定
 - ①政策課題・目的
 - ②実施内容
 - ③KPI（進捗、効果）
 - ④工程表（取組スケジュール）
 - ⑤推進体制（リーディング部署）
 - ⑥評価方法 など

アクション・プラン（仮称）で示す施策一覧

#1 顧客視点でデザインしよう

- ① 「ユーザーテストガイドライン」を適切な運用・アップデート
- ② 「デザイン思考」を基本としたUIやUXに関するガイドラインの策定
- ③ 顧客視点でデザインできているか確認できる仕組みの導入等
- ④ 手続系のWebサイトにおける顧客の行動や感情を意識したサービスガイドの整備

#2 シンプルなサービスを心がけよう

- ① 開発ツールや開発運用環境等の標準化や共通化（開発・運用プラットフォーム）の検討
- ② 国が推進する個人のID・認証基盤であるマイナンバー制度や法人共通認証基盤（GビズID）の活用
- ③ マイナンバーカードの活用によるシングルサインオンの実現
- ④ ベース・レジストリをはじめとした基盤データの整備、データカタログの整備等
- ⑤ API整備等の推進

#3 誰ひとり取り残されないようにしよう

- ① 現状のアクセシビリティに関する課題を抽出・把握・改善
- ② サイトにおけるSEO対策の実施やSNSなどを使ったプッシュ型のサービスの導入など
- ③ 障がいのある方等に都のデジタルサービスの構築に直接参加していただくための仕組みの検討
- ④ 身近な場所における相談会や体験会などの官民連携による自律的な支援制度の構築
- ⑤ API整備・運用ルール等の検討（#2⑤と一体的に推進）

#4 資源（データ）を最大限に活用しよう

- ① 庁内データ利活用に向けたEBPMなどのワークショップの実施や職員提案制度などの仕組みの試行
- ② データ設計チェックポイントなどをデータの生成や利活用などに関するガイドラインを明示
- ③ 国や区市町村との間におけるデータ連携基盤（プラットフォーム）などの検討

#5 安全安心なデジタル社会をつくろう

- ① セキュリティガイドラインの策定
- ② クラウドサービスの活用によるリスク分散や利用者のアクセス集中対策などに関するガイドラインの適切な運用
- ③ 被災時にも官民連携して早期に復旧できる仕組みや円滑な情報の共有に向けてのデータ戦略の整備等の検討

#6 オール東京一丸となって取り組もう

- ① 国の動向等の収集や区市町村との情報共有
- ② 区市町村ニーズ等の把握や共同して国内外における国や自治体の先駆的なデジタル施策に関する調査を実施
- ③ デジタル人材確保・育成や都と共同で実施する行政手続等のデジタル化に関する支援、システムの共有化等
- ④ 区市町村の中長期的な取組への新たなサポートを見据えた支援体制を更に強化

#7 都政の見える化をしよう

- ① 機械判読可能・二次利用可能な形式で公表・オープンデータ化
- ② オープンデータ・ハッカソンやオープンデータラウンドテーブルを開催
- ③ ユーザーレビューの実施や改善策の展開、効果測定などのデジタルの力を使ってオープン化する手法等を検討
- ④ ログデータをBIツールにより可視化し、利用状況や満足度を把握
- ⑤ KPIやKGIの設定を徹底、ダッシュボードの構築やユーザーレビュー結果やKPI等の公開方法の在り方等の検討

#8 都民と共創しよう

- ① 「ユーザーテストガイドライン」を適切な運用・アップデート（#1再掲）
- ② 顧客視点でデザインできているか確認できる仕組みの導入等（#1再掲）
- ③ 機械判読可能・二次利用可能な形式で公表・オープンデータ化（#7再掲）
- ④ API整備・運用ルール等の検討（#3再掲）
- ⑤ 各局等のOSSの運用について東京都OSS公開ガイドラインに基づく監理の徹底

#9 つねに見直し、チャレンジし続けよう

- ① 仮説検証型で小さな試行錯誤を繰り返す開発手法、都民や職員から聴いた声を開発中のサービスに反映させるための開発のプロセスに応じたチェックポイント、目指すゴールを満たさなかった場合に縮小を検討するためのチェックポイントを検討
- ② バイモーダルITの庁内浸透に向けたワークショップ等を実施

#10 ともに学びつづけよう

- ① 国の動向等の収集や区市町村との情報共有（#6再掲）
- ② 区市町村ニーズ等の把握や共同して国内外における国や自治体の先駆的なデジタル施策に関する調査を実施（#6再掲）
- ③ 庁内で策定してきた関連ガイドラインの棚卸の実施や庁内ポータルサイトの再整理
- ④ 各ガイドラインの庁内浸透に向けて技術研修等の充実
- ⑤ より良いデジタルサービスを構築するためのワークショップやデジタルツールを体験する場を企画

事項	R4.4-6月	7-9月	10-12月	R5.1-3月
<p>東京デジタルサービス会議</p> <p>ワーキンググループ ガイドラインの検討等</p>	<p>←※会議外でのコミュニケーション</p>	<p>★ 第5回開催</p> <p>↑↑</p>	<p>←※会議外でのコミュニケーション</p>	<p>★ 第6回開催</p> <p>↑↑</p>
<p>行動指針に基づく施策展開</p> <p>行動指針・10か条の浸透</p> <p>アクションプラン (仮称) の策定</p>	<p>報告</p>	<p>報告</p>	<p>報告</p>	<p>報告</p>
<p>随時開催 (UI/UX、データ利活用、セキュリティ)</p>				
<p>文化醸成・定着に向けた取組</p>				
<p>検討・策定</p>		<p>計画に基づく施策の推進</p>		